

SHINTO ニュース 5月号

医療法人創起会 くまもと森都総合病院

令和2年5月1日発行
(2ヶ月に一度発行します。)

SHINTO ニュースについて

- ・当院では、広報活動のひとつとして外来などに来院された患者さん、ご家族の皆様に広く当院の情報や医療の情報などについてお知らせするため、今月より本誌を発刊することといたしました。お気軽にお取りいただき、お読みいただければと考えております。



当院の医療機器についてのご紹介

当院の画像診断センターには様々な画像診断装置があり、病変の種類や場所によって装置を使い分け、または組み合わせを行って画像診断を行っています。今回はMRI装置についてご紹介します。

MRI装置は強い磁場と電波を利用して体内の画像を得る検査装置です。病変が疑われる部位を数種類の撮像方法で撮像することで、その病変の大きさや性状を診断することが出来ます。MRI検査は正常部と異常部の白黒の差（組織コントラスト）がCT検査などに比べて大きいのが特徴です。当院では磁場の最も強い3テスラの高性能MRI装置を使用して検査を行っています。

当院のMRI装置、Ingenia 3.0T CX (Philips社製)には他の装置にはない大きな特長が2つあります。

1.MR in-bore ソリューションシステム

検査中に音楽を聴きながら風景画などを見ることが出来るシステムです。MRI検査はドームの中に入っ
て行うため圧迫感を感じる事がありますが、このシステムを使用することで、検査中の圧迫感を軽減
することが出来ます。軽度の閉所恐怖症をお持ちの方からは「今までと比べて検査が楽に感じた」等のお
声を頂いております。(※検査部位によっては使用出来ないことがあります)

2.Compressed SENSE

装置のバージョンアップ(2019年12月)により可能となった新しい高速撮影技術です。従来と比較
して画質は同等のまま、2倍速程度の高速撮影が可能となりました。当院ではこの技術を利用して、検
査中の息を止め時間を短く、または同じ時間をかけてより高画質な画像の撮影を行っています。
この他にも、検査に使用するマットを低反発タイプのものに変更し、検査が快適に行えるようにしていま
す。



端午の節句について

端午の節句について述べさせていただきます。

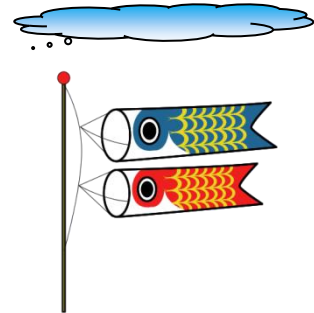
「端午の節句」は5月5日にあたり、「菖蒲（しょうぶ）の節句」とも言われています。

強い香気で厄を祓う菖蒲やよもぎを軒につるし、また菖蒲湯に入ること無病息災を願いました。

また、「菖蒲」を「尚武（しょうぶ）」という言葉にかけて、勇ましい飾りをして男の子の誕生と成長を祝う「尚武の節句」でもあります。「端午節」は、春節・中秋節に並び、中国の三大伝統節句とされており、とても重要な祝日として考えられています。端午の節句は中国から由来しているようです。

「端」とは「はじめ」という意味があり、「端午」とは「午のはじめ」のことであり、十二支を各月にあてはめた時「午の月」は5月ということになり、5月のはじめ初旬を意味するようです。

この旧暦の5月5日、戦国時代の「楚」の愛国詩人・屈原が汨羅（べきら）という川に身を投じ、屈原の遺体が魚に食べられないように、川に粽（ちまき）をまいたことから、この日に粽を食べるようになったとも言われています。



頭の体操コーナー

- ここからは頭の体操を行うコーナーです、是非参加してみてください。

（初級編）

- 1、通るときに閉まって、通らないときに開いているものは何？
- 2、たぬきの宝箱には何が入っている？

（中級編）

- 1、いつも何かにチャレンジしている国はどこ？
- 2、おじいちゃんとする球技は何？
- 3、八百屋さんがトラックにピーマン、トマト、ナス、きゅうりを積んで高速道路を走っています。急カーブであるものが落ちました。さて、それは何？

- 初級編、中級編と回答できましたでしょうか。
回答は本誌の下の方にありますのでご覧ください。

解答（初級編1 踏切、初級編2 からです、中級編1 朝鮮、中級編2 ソフトボール、中級編3 スピード）

—くまもと森都総合病院広報委員会—